

令和 7 年 度

若 手 教 員 研 修

(初 任 者 研 修)

研修の手引き 2

＜初任者用＞

福 井 県 教 育 委 員 会

勤務校	職名
氏名	

目 次

① 基本研修	1
1 基本研修のねらい	
2 基本研修の概要	
3 基本研修の特色	
② 若手教員研修	2
1 若手教員研修のねらい	
2 若手教員研修の柱	
3 若手教員研修に向けての心構え	
③ 令和7年度初任者研修の概要	3
1 目的	
2 実施主体	
3 対象者	
4 内容等	
【校種別校外研修実施計画】	
小学校…6	中学校…7
高等学校…9	特別支援学校…10
県立中学校…8	
④ 校外研修の受講に当たって	11
1 校外研修受講の際の心得	
2 校外研修の実施時間	
3 研修資料のダウンロードおよびレポート等の提出先	
4 研修を受ける上での準備物	
5 研修の参加に支障が生じたとき	
6 受講日等に注意が必要な研修	
⑤ 校外研修の計画および記録・報告書、その他の提出書類について	13
1 校外研修の計画および記録・報告書	
2 諸届	
⑥ 校外研修に関わるレポート	14
⑦ 通信型研修・NITS動画教材・NISE学びラボについて	15
1 通信型研修の受講方法	
2 NITS動画教材の受講方法	
3 NISE学びラボ～特別支援教育eラーニング～の受講方法および修了証明書	
主な研修会場案内	17
福井県教員育成指標	18

＜校外研修についての問合せ先＞

福井県教育総合研究所 教職研修センター	TEL (0776)58-2160 URL https://www.fukui-c.ed.jp/~fec/ E-mail kyousyoku@pref.fukui.lg.jp ※メールによるお問い合わせの場合は、件名を「初任者研修 問合せ」と表記してください。
福井県特別支援教育センター	TEL (0776)53-6574 URL http://www.fukuisec.ed.jp E-mail tokuse03@pref.fukui.lg.jp
福井県教育庁嶺南教育事務所	TEL (0770)56-1302 URL http://info.pref.fukui.jp/gakukyo/reinan/index

1 基本研修（若手教員研修、中堅教諭等資質向上研修、40代研修、50代研修）

1 基本研修のねらい

(1) 「教えることの専門家」から「学びの専門家」へ

学校教育の成果は、その担い手である教員の資質・能力に負うところが大きい。グローバル化に伴い社会や産業、経済が大きく変化する中、先行き不透明な時代をたくましく生き抜く力を児童・生徒に育成することが、学校教育の重要な役割となっている。そのためには、従来の知識習得中心の教育から、知識を活用しながら新たな知を創造し、正解のない課題に立ち向かっていく資質・能力を育てる教育へ、学びの質の転換を図らなければならない。

こうした教育の質の転換は、その担い手である教員にも変化を迫っている。すなわち、「教えることの専門家」から、自分自身も学び続ける「学びの専門家」への転換である。現状に安住することなく教職生活全体を通じて学び続け、新たな教育課題に対応できるよう常に自己の成長や変革を図っていくことが、これからの教員に求められる重要な資質・能力となっている。

(2) 学び続ける教員の土台を築く

福井県教育委員会では「福井県教員育成指標」に基づく教員研修を行っている。初任者から教員のキャリアに応じて実施する基本研修は、若手教員の日々の教育活動に寄り添いながらその成長を支えとともに、力量ある教員としてキャリア形成していくための土台を築く研修である。

生涯にわたって学び続ける「学びの専門家」という新たな教員に求められる資質・能力の育成に向けて、最初の10年間は極めて重要である。この土台を築く期間に、自己研鑽の姿勢や方法を身に付けることで、教員としての可能性が大きく広がる。

2 基本研修の概要

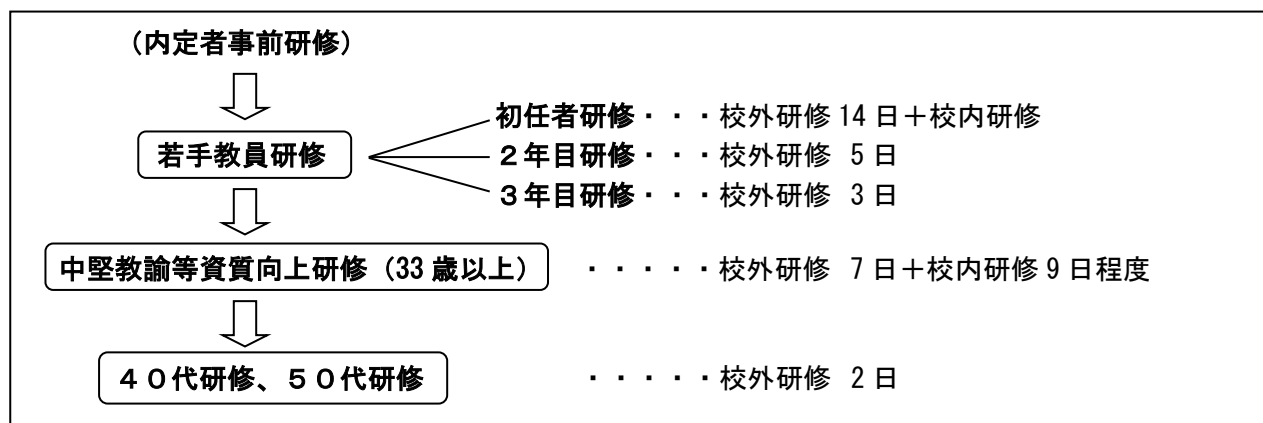
福井県教育委員会では福井県教員育成指標（p.18 参照）に基づき、各ステージの資質・能力の育成をめざし、次の基本研修を実施する。

(1) 若手教員研修（初任者研修、2年目研修、3年目研修）

第1ステージの資質・能力の育成を目指し、初任者研修、2年目研修、3年目研修を実施する。教員としての基本的な力量形成を図ることで、教員としての自立を支援する。初任者研修においては、校内研修と校外研修の関連を図りながら進めていく。

(2) 中堅教諭等資質向上研修、40代研修、50代研修

第2ステージ、第3ステージの資質・能力の育成を目指し、中堅教諭等資質向上研修、40代研修、50代研修を実施する。教員として一定の経験を積んだ時期に自己の特性を伸ばすとともに、これまでの経験をもとに創造的な実践に取り組む意欲と力量の向上を図る。主に中堅教諭等資質向上研修においては、校内研修と校外研修の関連を図りながら進め、若手教員へのリーダーシップの向上を支援する。



3 基本研修の特色 ―クロスセッション―

若手教員研修、中堅教諭等資質向上研修、40代研修、50代研修からなる基本研修は、教員としての様々な経験を踏まえながら、各研修間の内容のつながりと実践の共有を重視し、系統性・一体性をもって実施している。そこで軸となるのが、クロスセッションである。

クロスセッションとは、校種や経験年数、世代が異なる教員とグループを組み、実践や思いを共有する協議形態で、幅広い学びの獲得を意図している。このクロスセッションを通して、協議内容からの学びだけでなく、自らの経験をもとにした語りと傾聴によりコミュニケーション能力を高めると共に、自律した教育者としての自覚を持ち、一層の成長を図る。クロスセッションを取り入れた主な研修は、次のとおりである。

○若手教員同士のクロスセッション

対象：初任者研修、2年目研修、3年目研修受講者

内容：年間を通して取り組んでいる授業実践研究の中間報告

○若手教員と中堅教員でのクロスセッション

対象：初任者研修、3年目研修、中堅教諭等資質向上研修の受講者

内容：年間を通して取り組んでいる授業実践研究（初任者、3年目）、教育実践研究（中堅）のまとめの報告

○世代の異なる教員でのクロスセッション

対象：中堅教諭等資質向上研修、40代研修、50代研修

内容：世代を交えた教員同士の学び合い、教育実践の共有

2 若手教員研修（初任者研修、2年目研修、3年目研修）

1 若手教員研修のねらい

若手教員研修は、教職に就いたばかりの教員を支援する研修であるとともに、職務を遂行する能力を向上させるなど、教員としての基盤形成を軸とした基本研修である。主なねらいは、次のとおりである。

①授業実践力を高める。

②教員としての使命や責任を自覚し、目標を明確にして力量形成に取り組む意欲を高める。

③学級経営や生徒指導、特別な配慮を要する児童・生徒への対応、ICTの利活用等、校種に合わせて求められる多様な能力の基礎を、実践を通して身に付ける。

④多様な協議の場を通してコミュニケーション能力を高める。

2 若手教員研修の柱 ―授業実践研究―

授業を中心とした実践力向上のため、研修の柱として、3年間を通して授業実践研究を設定する。受講者は、年間を通してのテーマを設定し、「実践」―「省察」―「記録」―「実践研究の共有」という「授業実践のサイクル」を回しながら、実践を進めていく。自己の実践の成果や課題を明らかにしながら、それをもとに実践の改善を図り、省察的実践力を高める。実践研究を進める上では、学級経営や生徒指導などの教育実践の側面も含まれる。

そして、初任者研修の実践での成果や課題を踏まえ2年目研修の実践テーマを、同様に、2年目研修の実践での成果や課題を踏まえ3年目研修の実践テーマを設定することを促し、系統性のある研修とする。

また、次の2回のクロスセッションを通して、3年間の授業実践研究を一体性のある研修とする。

○10、11月〔初任者、2年目、3年目〕でのクロスセッション

校種や教科を合わせたグループで、専門的な力量形成を目指す。

○1、2月〔初任者、3年目、中堅教諭〕でのクロスセッション

校種や教科を超えたグループで、他者の視点を意識し視野を広げる。

3 若手教員研修に向けての心構え

研修に当たっては、若手教員研修の趣旨を理解し、「学び続ける教員」として自己の現状や課題を認識して目標を設定し、目指す目標に向かってどのような努力が必要かを把握することが大切である。そして、研修を通して同期採用や先輩の教員から謙虚に学び、着実に力量を向上させ、その力を児童・生徒へのよりよい教育の実践につなげる姿勢が重要である。

3 令和7年度初任者研修の概要

1 目的

教職1年目から3年目までの教員を対象とする若手教員研修の初年度の研修として実施する。初任者研修は、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、新任教員に対して現職教育の一環として1年間の研修を行うものである。研修を通して、福井県教員育成指標に基づいた資質・能力および実践的指導力の育成を目的とする。

2 実施主体

福井県教育委員会が関係教育委員会の協力を得て実施する。

3 対象者

初任者研修の対象者（以下「初任者」）は、令和7年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の新任教諭とする。ただし、養護教諭、栄養教諭および県外等における1年以上の教職経験者（臨時的任用は含まない）は除く。

4 内容等

(1) 研修内容

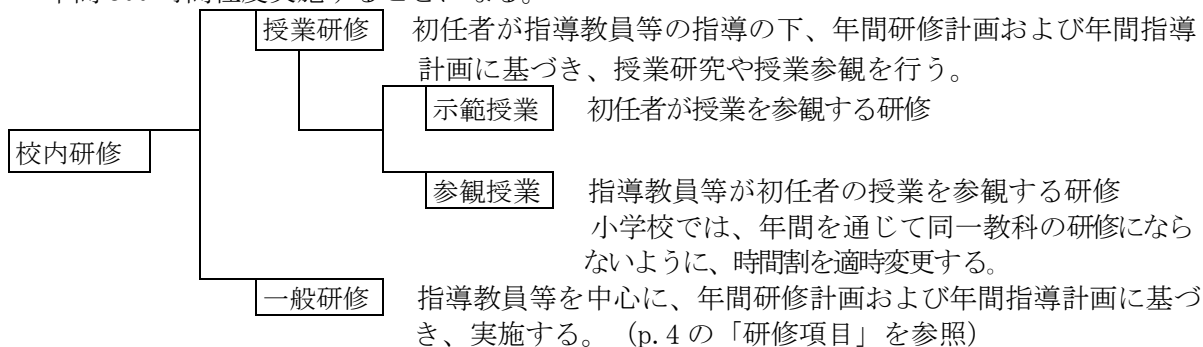
教員に必要な資質・能力の向上を目指して、素養、学習指導、生徒指導、特別な配慮や支援、ICT等の利活用、ふくいのかたちについて研修を行う。

(2) 研修形態

初任者研修は、校内研修と校外研修の二つからなる。

① 校内研修

勤務校において校長の指導の下に、指導教員等を中心とした指導・助言によって行う研修で、職務遂行に必要な事項についての研修を初任者としては週6時間程度、年間180時間程度実施する。なお、指導教員・校内研修コーディネーターとしては準備等の時間を含め、週10時間程度、年間300時間程度実施することになる。



○ 初任者アドバイザー

初任者アドバイザーは、初任者が所属する学校の教諭（原則として若手教員研修の修了者）から任命され、初任者の身近な相談相手として支援をする。

○ 教科指導員

高等学校および特別支援学校(中学部・高等部。ただし、知的障がいの教育課程を除く。)においては、指導教員の免許教科が初任者の免許教科と異なる場合は、教科指導員において指導・助言を行う。

② 校外研修

教育総合研究所、特別支援教育センター、教育庁嶺南教育事務所、関係市町教育委員会、南越地方教育委員会連絡協議会などが実施する研修で、年間14日実施する。教育課題に関する事項、教育者としての基本的姿勢に関する事項、教員としての専門的指導力に関する事項などについて、講義、演習および実技研修を行う。

年間を通じ、実施計画に基づいて、校種毎にそれぞれ実施する。

(3) 研修項目

①校内研修（例）

資質・能力	第 1 学期	第 2 学期	第 3 学期
素 養	教員としての心構えとマナー メンタルヘルス 教員の服務と本校の勤務規定 学校教育目標 本校の特色と教育課程 学校の組織と運営 P T A の組織と運営 家庭、地域、関係機関との連携 保護者会の進め方	教育関係法規の概要 教職観の涵養 人権教育 校内組織（校務分掌）の在り方 開かれた学校づくり 業務効率化のための環境整備や工夫 協働的活動への参加や同僚性の構築 家庭訪問の進め方 保護者との面談の進め方	研修と自己成長 初任者研修の総括 学校目標と学校評価 教育課程実施の点検と改善 学校の危機管理 児童生徒の安全・安心 ワーク・ライフ・バランスの実現 教育にかかわる現状と課題
学 習 指 導	学習指導案の書き方 教科指導の基礎技術 授業の参観と実施 教材研究の進め方 授業の進め方 テストの作成と評価の仕方 道德教育の目標と意義 特別活動の教育的意義 総合的な学習の時間の趣旨 外国語活動・外国語科の趣旨	授業の進め方 授業の参観と実施 個別指導・グループ指導・一斉指導 教材・教具の作成と活用の仕方 テストの作成と評価の仕方 学校行事の指導の実際 児童・生徒会活動の指導の実際 S D G s と教育 国際理解教育の進め方	授業の参観と実施 授業研究の進め方 テストの作成と評価の仕方 1 年間の授業の反省と評価 特別活動の反省と評価 次年度年間指導計画の検討
生 徒 指 導	1 学期の学級経営 学級経営の評価 学習態度の育成の指導 児童生徒の実態把握や理解 集団指導の技術 集団指導と個別指導 児童生徒のほめ方・しかり方 学級経営案の作成 年度当初の学級事務の進め方 教室の環境づくり 朝の会・帰りの会の進め方 学級活動の進め方 通知表の作成法 いじめ・自殺防止	2 学期の学級経営 学級経営の評価 問題行動に関する事例研究 教育相談の進め方 学校における生徒指導体制 生徒指導の意義と実際 学級通信の作り方 学級活動の指導の実際 進路指導（キャリア教育）の意義と実際 体験活動の指導の実際 部活動の指導の実際 保健管理と保健教育 食に関する指導 いじめ・自殺防止	3 学期の学級経営 年間の学級経営の評価と次年度の計画 ガイダンス機能 進路情報の収集と活用 生徒指導の反省と評価 進路指導（キャリア教育）の反省と評価 学年末の学級事務処理の仕方 いじめ・自殺防止
慮 特 や 別 支 援 配	障がいのある児童生徒への支援 特別支援教育の基礎	障がいのある児童生徒への支援 個別指導の進め方 児童生徒の特性の理解と合理的配慮	障がいのある児童生徒への支援 インクルーシブ教育の視点 特別支援教育の推進
の I 利 C 活 T 用 等	I C T 機器活用の基礎 I C T を活かした様々な学習形態	デジタル教材の活用の基礎 I C T 機器の活用と個別最適な学び	学習データの蓄積と引継ぎ 情報活用能力の育成 情報モラル教育

※ 3 学期制の場合

②校外研修

資質・能力	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校				
素 養	・学校教育の基本（本県教育の特徴と課題、使命感、服務、人権教育等） ・コミュニケーション力 ・スクールコンプライアンス ・目指す教員像（O J T） ・教職員のメンタルヘルス ・異校種間連携 ・学校危機管理（防犯、防災） ・保護者への対応 ・環境教育 ・今日的課題（社会の変化と学校教育） ・地域理解（地域の関係機関との連携等）							
学 習 指 導	・教科別学習指導、外国語活動（教育課程、授業研究を含む） ・授業実践研究 ・福井の教育力を支える研究・連携 ・学びの接続の視点での研究 ・特別活動 <table><tr><td> ・道徳教育 （授業研究を含む） ・体育に関する安全管理と指導 </td><td> ・道徳教育 （授業研究を含む） </td><td colspan="2"> ・教科指導と特別活動の実際 </td></tr></table>				・道徳教育 （授業研究を含む） ・体育に関する安全管理と指導	・道徳教育 （授業研究を含む）	・教科指導と特別活動の実際	
・道徳教育 （授業研究を含む） ・体育に関する安全管理と指導	・道徳教育 （授業研究を含む）	・教科指導と特別活動の実際						
生 徒 指 導	・生徒指導 ・児童、生徒理解（いじめ・自殺防止等） ・教育相談 ・キャリア教育、進路指導 ・学級経営 ・健康安全教育							
特 や別 支な 援配 慮	・特別支援教育の基礎 ・発達障がいへの対応		・特別支援教育の基礎 ・発達障がいへの対応 ・特別支援教育の現状と課題	・特別支援教育入門 ・障がいの理解 ・特別支援教育の現状と課題				
の I 利 C 活 T 用等	・情報教育（I C T機器の活用） ・情報セキュリティ							

(4) 校外研修実施計画

【小学校】

コードNo.	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場		備考
101 102 143 122 － －	素養 素養 素養 生徒指導 － －	教職員の服務・規律 人権教育（同和教育・いじめ防止等） 学校教育の現状と課題 学級づくり① 「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイダンス	4月2日（水） 10:00～16:00 県生活学習館		別途通知
N001	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 ◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.4 「スクール・コンプライアンス」	各自		－
N002	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.5 「学校の組織、チーム学校」	春季休業中の受講を推奨		
G211	生徒指導	◎通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」			☆TS1で代替可
112b	学習指導 ICT等の利活用	I C Tを活用した授業づくり	下記4日のうち指定日に受講 4月17日(木) 嶺南教育事務所 18日(金) 教育総合研究所 22日(火) あいばーく今立（越前市） 24日(木) 教育総合研究所 10:00～12:30 または 14:00～16:30		p. 11参照
G301	ICT等の利活用	◎通信型研修「情報セキュリティの基礎」	各自		－
111 112a 114a	学習指導 学習指導 学習指導	学習指導要領の理念 教科別研修Ⅰ（国語、社会、算数、理科、外国語） 授業づくり①	嶺北 5月29日（木） 9:30～16:00 教育総合研究所	嶺南 5月22日（木） 9:30～16:00 嶺南教育事務所	p. 12参照 ※事前課題あり
144 104 192	素養 素養 学習指導 ふくいの力	教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 N I E、環境教育	下記2日のうち指定日に受講 6月5日（木）、13日（金） 9:30～16:00 三方青年の家		p. 12参照
121 125 191 114b 113	生徒指導 生徒指導 学習指導 ふくいの力 学習指導 学習指導	児童・生徒理解（自殺防止等） 学級づくり② ふくいの教育 授業づくり② 授業実践研究Ⅰ（テーマ設定）	嶺北 6月26日（木） 9:30～16:00 教育総合研究所	嶺南 7月3日（木） 9:30～16:00 嶺南教育事務所	※事前課題あり
N003	生徒指導	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	各自		－
115 131	学習指導 生徒指導 特別な配慮や支援	道徳の授業づくり 特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応）	7月10日（木） 13:30～16:30 オンライン		－
112c	学習指導	授業研究（公開授業参観および研究協議会参加）	各自申込		p. 12参照
G101	学習指導	◎通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	各自		☆TS2で代替可
117	学習指導	体育に関する安全管理と指導	福井・坂井・奥越 10月2日（木） 13:30～16:30 坂井市立磯部小学校	鯖丹・南越・嶺南 10月9日（木） 13:30～16:30 南越前町立南条小学校	－
N004	生徒指導	◎N I T S 校内研修シリーズNo.109「キャリアパスポート」	各自		☆TS3で代替可
161	素養 学習指導 ふくいの力	授業実践研究の共有 （初任者・2年目・3年目のクロスセッション）	下記8日のうち1日選択 10月15日(水) 嶺南教育事務所 16日(木) 教育総合研究所 21日(火) あいばーく今立（越前市） 23日(木) 教育総合研究所 29日(木) 教育総合研究所 30日(木) 嶺南教育事務所 11月 6日(木) 教育総合研究所 7日(金) 教育総合研究所 13:30～16:30		別途通知 p. 12参照 ※事前課題あり
N005	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.27 「学び続ける教師をめざして ～学びを深める校内研修～」	各自		☆TS4で代替可
145 118 126	素養 学習指導 素養 生徒指導	健康安全教育（防災、食育を含む） 学びの接続を意識した授業づくり 教育相談とカウンセリング	11月27日（木） 13:30～16:30 教育総合研究所		－
H001～H622 G001～G021	学習指導	◎教科に関する通信型研修 左記のコードNo.の講座から 1 講座選択	各自		☆TS5で代替可
162	素養 学習指導 ふくいの力	教育実践研究の共有 （初任者・3年目・中堅のクロスセッション）	下記6日のうち1日選択 1月22日(木)教育総合研究所 23日(金)嶺南教育事務所 27日(火)教育総合研究所 29日(木)あいばーく今立（越前市） 2月 4日(水)教育総合研究所 5日(木)教育総合研究所 13:30～16:30		別途通知 p. 12参照 ※事前課題あり
H801	学習指導	◎通信型研修「道徳教育の基礎」	各自		－
171	素養 学習指導	地域別授業実践研究①	市町教育委員会等が計画・実施		市町教育委員会等より 別途通知
172	素養 学習指導	地域別授業実践研究②			

※備考欄に「※事前課題あり」とある研修はp. 14「校外研修に関わるレポート」で内容、提出方法等を確認する。

※☆TSは新任特別支援学級担任教員研修を指す。（詳細はp. 12参照）

校外研修実施計画

【中学校】

コードNo.	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場		備考
101 102 143 122 － －	素養 素養 素養 生徒指導 － －	教職員の服務・規律 人権教育（同和教育・いじめ防止等） 学校教育の現状と課題 学級づくり① 「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイダンス	4月2日（水） 10:00～16:00 県生活学習館		別途通知
N001	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として ～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 ◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.4 「スクール・コンプライアス」	各自		－
N002	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.5 「学校の組織、チーム学校」	春季休業中の受講を推奨		
G211	生徒指導	◎通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」			☆TS1で代替可
112b	学習指導 ICT等の利活用	I C T を活用した授業づくり	下記4日のうち指定日に受講 4月17日(木) 嶺南教育事務所 18日(金) 教育総合研究所 22日(火) あいばーく今立（越前市） 24日(木) 教育総合研究所 10:00～12:30 または 14:00～16:30		p. 11参照
G301	ICT等の利活用	◎通信型研修「情報セキュリティの基礎」	各自		－
111 112a 114a	学習指導 学習指導 学習指導	学習指導要領の理念 教科別研修Ⅰ 授業づくり①	嶺北 5月29日（木） 9:30～16:00 教育総合研究所	嶺南 5月22日（木） 9:30～16:00 嶺南教育事務所	p. 12参照 ※事前課題 あり
144 104 192	素養 素養 学習指導 ふくいの力	教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 N I E、環境教育	6月12日（木） 9:30～16:00 三方青年の家		p. 12参照
121 125 191 114b 113	生徒指導 生徒指導 学習指導 ふくいの力 学習指導 学習指導	児童・生徒理解（自殺防止等） 学級づくり② ふくいの教育 授業づくり② 授業実践研究Ⅰ（テーマ設定）	嶺北 7月3日（木） 9:30～16:00 教育総合研究所	嶺南 7月3日（木） 9:30～16:00 嶺南教育事務所	※事前課題 あり
N003	生徒指導	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	各自		－
115 131	学習指導 生徒指導 特別な配慮や支援	道徳の授業づくり 特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応）	7月10日（木） 13:30～16:30 オンライン		－
112c	学習指導	授業研究（公開授業参観および研究協議会参加）	各自申込		p. 12参照
G101	学習指導	◎通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	各自		☆TS2で代替可
152 116	素養 学習指導	高校教育の現状と課題 教科指導の実際（公開授業参観等）	9月25日（木） 午前 若狭高等学校		別途通知
N004	生徒指導	◎N I T S 校内研修シリーズNo.109「キャリアパスポート」	各自		☆TS3で代替可
161	素養 学習指導 ふくいの力	授業実践研究の共有 （初任者・2年目・3年目のクロスセッション）	下記8日のうち1日選択 10月15日(水) 嶺南教育事務所 16日(木) 教育総合研究所 21日(火) あいばーく今立（越前市） 23日(木) 教育総合研究所 29日(木) 教育総合研究所 30日(木) 嶺南教育事務所 11月 6日(木) 教育総合研究所 7日(金) 教育総合研究所 13:30～16:30		別途通知 p. 12参照 ※事前課題 あり
N005	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.27 「学び続ける教師をめざして ～学びを深める校内研修～」	各自		☆TS4で代替可
145 118 126	素養 学習指導 素養 生徒指導	健康安全教育（防災、食育を含む） 学びの接続を意識した授業づくり 教育相談とカウンセリング	11月20日（木） 13:30～16:30 教育総合研究所		－
H001～H622 G001～G021	学習指導	◎教科に関する通信型研修 左記のコードNo.の講座から 1講座選択	各自		☆TS5で代替可
162	素養 学習指導 ふくいの力	教育実践研究の共有 （初任者・3年目・中堅のクロスセッション）	下記6日のうち1日選択 1月22日（木）教育総合研究所 23日（金）嶺南教育事務所 27日（火）教育総合研究所 29日（木）あいばーく今立（越前市） 2月 4日（水）教育総合研究所 5日（木）教育総合研究所 13:30～16:30		別途通知 p. 12参照 ※事前課題 あり
H801	学習指導	◎通信型研修「道徳教育の基礎」	各自		－
171	素養 学習指導	地域別授業実践研究①	市町教育委員会等が計画・実施		市町教育 委員会等より 別途通知
172	素養 学習指導	地域別授業実践研究②			

※備考欄に「※事前課題あり」とある研修はp.14「校外研修に関わるレポート」で内容、提出方法等を確認する。
 ※☆TSは新任特別支援学級担任教員研修を指す。（詳細はp. 12参照）

校外研修実施計画

【県立中学校】

コードNo.	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場	備考
101 102 143 122 － －	素養 素養 素養 生徒指導 － －	教職員の服務・規律 人権教育（同和教育・いじめ防止等） 学校教育の現状と課題 学級づくり① 「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイダンス	4月2日（水） 10:00～16:00 県生活学習館	別途通知
N001	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として ～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 ◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.4 「スクール・コンプライアス」	各自	－
N002	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.5 「学校の組織、チーム学校」	春季休業中の受講を推奨	
G211	生徒指導	◎通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」		☆TS1で代替可
112b	学習指導 ICT等の利活用	I C T を活用した授業づくり	下記4日のうち指定日に受講 4月17日(木) 嶺南教育事務所 18日(金) 教育総合研究所 22日(火) あいばーく今立（越前市） 24日(木) 教育総合研究所 10:00～12:30 または 14:00～16:30	p. 11参照
G301	ICT等の利活用	◎通信型研修「情報セキュリティの基礎」	各自	－
111 112a 114a	学習指導 学習指導 学習指導	学習指導要領の理念 教科別研修Ⅰ 授業づくり①	5月29日（木） 9:30～16:00 教育総合研究所	p. 12参照 ※事前課題あり
144 104 192	素養 素養 学習指導 ふくいの力	教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 N I E、環境教育	6月12日（木） 9:30～16:00 三方青年の家	p. 12参照
121 125 191 114b 113	生徒指導 生徒指導 学習指導 ふくいの力 学習指導 学習指導	児童・生徒理解（自殺防止等） 学級づくり② ふくいの教育 授業づくり② 授業実践研究Ⅰ（テーマ設定）	7月3日（木） 9:30～16:00 教育総合研究所	※事前課題あり
N003	生徒指導	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	各自	－
115 131	学習指導 生徒指導 特別な配慮や支援	道徳の授業づくり 特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応）	7月10日（木） 13:30～16:30 オンライン	－
112c	学習指導	授業研究（公開授業参観および研究協議会参加）	各自申込	p. 12参照
G101	学習指導	◎通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	各自	☆TS2で代替可
152 116	素養 学習指導	高校教育の現状と課題 教科指導の実際（公開授業参観等）	9月25日（木） 午前 若狭高等学校	別途通知
N004	生徒指導	◎N I T S 校内研修シリーズNo.109「キャリアパスポート」	各自	☆TS3で代替可
161	素養 学習指導 ふくいの力	授業実践研究の共有 （初任者・2年目・3年目のクロスセッション）	下記8日のうち1日選択 10月15日(水) 嶺南教育事務所 16日(木) 教育総合研究所 21日(火) あいばーく今立（越前市） 23日(木) 教育総合研究所 29日(木) 教育総合研究所 30日(木) 嶺南教育事務所 11月 6日(木) 教育総合研究所 7日(金) 教育総合研究所 13:30～16:30	別途通知 p. 12参照 ※事前課題あり
N005	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.27 「学び続ける教師をめざして ～学びを深める校内研修～」	各自	☆TS4で代替可
145 118 126	素養 学習指導 素養 生徒指導	健康安全教育（防災、食育を含む） 学びの接続を意識した授業づくり 教育相談とカウンセリング	11月20日（木） 13:30～16:30 教育総合研究所	－
H001～H622 G001～G021	学習指導	◎教科に関する通信型研修 左記のコードNo.の講座から 1 講座選択	各自	☆TS5で代替可
162	素養 学習指導 ふくいの力	教育実践研究の共有 （初任者・3年目・中堅のクロスセッション）	下記6日のうち1日選択 1月22日（木）教育総合研究所 23日（金）嶺南教育事務所 27日（火）教育総合研究所 29日（木）あいばーく今立（越前市） 2月 4日（水）教育総合研究所 5日（木）教育総合研究所 13:30～16:30	別途通知 p. 12参照 ※事前課題あり
H801	学習指導	◎通信型研修「道徳教育の基礎」	各自	－
171 172	素養 学習指導 素養 学習指導	地域別授業実践研究① 地域別授業実践研究②	市町教育委員会等が計画・実施	市町教育委員会等より 別途通知

※備考欄に「※事前課題あり」とある研修はp.14「校外研修に関わるレポート」で内容、提出方法等を確認する。

※☆TSは新任特別支援学級担任教員研修を指す。（詳細はp. 12参照）

校外研修実施計画

【高等学校】

コードNo.	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場	備考
101 102 143 122 - -	素養 素養 素養 生徒指導 - -	教職員の服務・規律 人権教育（同和教育・いじめ防止等） 学校教育の現状と課題 学級づくり① 「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイダンス	4月2日（水） 10:00～16:00 県生活学習館	別途通知
N001	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として ～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 ◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.4 「スクール・コンプライアス」	各自	-
N002	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.5 「学校の組織、チーム学校」	春季休業中の受講を推奨	
G211	生徒指導	◎通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」		
112b	学習指導 ICT等の利活用	I C Tを活用した授業づくり	下記4日のうち指定日に受講 4月17日(木) 嶺南教育事務所 18日(金) 教育総合研究所 22日(火) あいばーく今立（越前市） 24日(木) 教育総合研究所 10:00～12:30 または 14:00～16:30	p. 11参照
G301	ICT等の利活用	◎通信型研修「情報セキュリティの基礎」	各自	-
111 112a 114a	学習指導 学習指導 学習指導	学習指導要領の理念 教科別研修Ⅰ 授業づくり①	5月29日（木） 9:30～16:00 教育総合研究所	p. 12参照 ※事前課題 あり
144 104 192	素養 素養 学習指導 ふくいの力	教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 N I E、環境教育	6月12日（木） 9:30～16:00 三方青年の家	p. 12参照
121 125 191 114b 113	生徒指導 生徒指導 学習指導 ふくいの力 学習指導 学習指導	児童・生徒理解（自殺防止等） 学級づくり② ふくいの教育 授業づくり② 授業実践研究Ⅰ（テーマ設定）	7月3日（木） 9:30～16:00 教育総合研究所	※事前課題 あり
N003	生徒指導	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	各自	-
132 133	生徒指導 特別な配慮や支援	特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応） 特別支援教育の現状と課題	6月25日（水） 午前 嶺北特別支援学校	特支センター より別途通知
112c	学習指導	授業研究（公開授業参観および研究協議会参加）	各自申込	p. 12参照
G101	学習指導	◎通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	各自	-
152 116	素養 学習指導	高校教育の現状と課題 教科指導の実践（公開授業参観等）	9月25日（木） 午前 若狭高等学校	別途通知
N004	生徒指導	◎N I T S 校内研修シリーズNo.109「キャリアパスポート」	各自	-
161	素養 学習指導 ふくいの力	授業実践研究の共有 （初任者・2年目・3年目のクロスセッション）	下記8日のうち1日選択 10月15日(水) 嶺南教育事務所 16日(木) 教育総合研究所 21日(火) あいばーく今立（越前市） 23日(木) 教育総合研究所 29日(水) 教育総合研究所 30日(木) 嶺南教育事務所 11月 6日(木) 教育総合研究所 7日(金) 教育総合研究所 13:30～16:30	別途通知 p. 12参照 ※事前課題 あり
N005	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.27 「学び続ける教師をめざして ～学びを深める校内研修～」	各自	-
145 118 126	素養 学習指導 生徒指導 素養	健康安全教育（防災、食育を含む） 学びの接続を意識した授業づくり 教育相談とカウンセリング	11月20日（木） 13:30～16:30 教育総合研究所	-
H001～H622 G001～G021	学習指導	◎教科に関する通信型研修 左記のコードNo.の講座から 1講座選択	各自	-
162	素養 学習指導 ふくいの力	教育実践研究の共有 （初任者・3年目・中堅のクロスセッション）	下記6日のうち1日選択 1月22日（木）教育総合研究所 23日（金）嶺南教育事務所 27日（火）教育総合研究所 29日（木）あいばーく今立（越前市） 2月 4日（水）教育総合研究所 5日（木）教育総合研究所 13:30～16:30	別途通知 p. 12参照 ※事前課題 あり
N006	学習指導	◎N I T S 校内研修No.81 高等学校における道徳教育の充実に向けて	各自	-
173 174	素養 学習指導 素養 学習指導	授業実践と研究協議①（指導主事訪問） 授業実践と研究協議②（指導主事訪問）	高校教育課が計画・実施 （実施期間）*予定 No.173 5月下旬～9月 No.174 10月下旬～1月	高校教育課 より別途通知

※備考欄に「※事前課題あり」とある研修はp. 14「校外研修に関わるレポート」で内容、提出方法等を確認する。

校外研修実施計画

【特別支援学校】

コードNo.	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場	備考
101 102 143 122 － －	素養 素養 素養 生徒指導 － －	教職員の服務・規律 人権教育(同和教育・いじめ防止等) 学校教育の現状と課題 学級づくり① 「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイダンス	4月2日(水) 10:00～16:00 県生活学習館	別途通知
N001	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.3 「まずは一社会人として ～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 ◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.4 「スクール・コンプライアス」	各自	－
N002	素養	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.5 「学校の組織、チーム学校」	春季休業中の受講を推奨	
N101	特別な配慮や支援	◎N I S E 学びラボ 「多様な学びの場(特別支援学校の教育)」		p.16参照
112b	学習指導 ICT等の利活用	I C Tを活用した授業づくり	下記4日のうち指定日に受講 4月17日(木) 嶺南教育事務所 18日(金) 教育総合研究所 22日(火) あいばーく今立(越前市) 24日(木) 教育総合研究所 10:00～12:30 または 14:00～16:30	p.11参照
G301	ICT等の利活用	◎通信型研修「情報セキュリティの基礎」	各自	－
181 182 183	学習指導 生徒指導 特別な配慮や支援	授業実践研究Ⅰ(個別研究のテーマ) 特別支援教育概論 障がいの理解	5月22日(木) 9:30～16:00 教育総合研究所	特支センター より別途通知 ※事前課題 あり
144 104 192	素養 素養 学習指導 ふくいの力	教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 N I E、環境教育	6月5日(木) 9:30～16:00 三方青年の家	p.12参照
121 191 125 114 184	生徒指導 学習指導 ふくいの力 学習指導 ふくいの力 特別な配慮や支援 学習指導	児童・生徒理解(自殺防止等) ふくいの教育 学級づくり② 授業づくり 授業実践研究Ⅰ(個別研究の経過報告)	7月3日(木) 9:30～16:00 教育総合研究所	※事前課題 あり
N003	生徒指導	◎N I T S 基礎的研修シリーズ No.23「不登校」	各自	－
132 133	生徒指導 特別な配慮や支援	特別支援教育の基礎(発達障がいへの対応) 特別支援教育の現状と課題	6月25日(水) 午前 嶺北特別支援学校	特支センター より別途通知
112c G101	学習指導 学習指導	授業研究(公開授業参観および研究協議会参加) ◎通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」	各自申込 各自	p.12参照 －
185 186 187	特別な配慮や支援 学習指導 素養	特別支援教育に関する課題研究 授業実践研究Ⅰ(個別研究の中間報告) 教科指導の基礎	9月25日(木) 9:30～16:00 教育総合研究所	特支センター より別途通知 ※事前課題 あり
161	素養 学習指導 特別な配慮や支援 ふくいの力	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	下記3日のうち1日選択 10月30日(木) 特別支援教育センター 11月 6日(木) 特別支援教育センター 13日(木) 特別支援教育センター 13:30～16:30	別途通知 p.12参照 ※事前課題 あり
N201	特別な配慮や支援	◎N I S E 学びラボ「障害種別の専門性」	各自	p.16参照
145 118 126	素養 学習指導 素養 生徒指導	健康安全教育(防災、食育を含む) 学びの接続を意識した授業づくり 教育相談とカウンセリング	11月20日(木) 13:30～16:30 教育総合研究所	－
H001～H622 G001～G021	学習指導	◎教科に関する通信型研修 左記のコードNo.の講座から 1 講座選択	各自	－
189	素養 特別な配慮や支援	テーマ別協議	12月4日(木) 13:30～16:30 オンライン	特支センター より別途通知
162	素養 学習指導 特別な配慮や支援 ふくいの力	教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)	下記6日のうち1日選択 1月22日(木) 教育総合研究所 23日(金) 嶺南教育事務所 27日(火) 教育総合研究所 29日(木) あいばーく今立(越前市) 2月 4日(水) 教育総合研究所 5日(木) 教育総合研究所 13:30～16:30	別途通知 p.12参照 ※事前課題 あり
H801	学習指導	◎通信型研修「道徳教育の基礎」	各自	－
173	素養 学習指導	授業実践と研究協議(指導主事訪問)	高校教育課が計画・実施 (実施期間) *予定 No.173 9月下旬～1月	高校教育課 より別途通知

※備考欄に「※事前課題あり」とある研修はp.15「校外研修に関わるレポート」で内容、提出方法等を確認する。

4 校外研修の受講に当たって

1 校外研修受講の際の心得

- ・社会人として常識をもって行動する。
- ・教員として自覚をもって行動する。
- ・研修には、各自が課題をもって主体的、積極的に参加する。
- ・研修を受ける者としてふさわしい服装で参加する。
- ・研修の開始時刻を厳守する。やむを得ず遅れる場合は、管理職を通じて担当機関に電話連絡する。

2 校外研修の実施時間

- ・校種別の校外研修実施計画に定められた日に研修を受講する。
- ・研修開始時間の 10 分前までには、受付を完了する。
- ・教育総合研究所、特別支援教育センター、嶺南教育事務所での研修時間は下表のとおり。

	受付時間	研修時間	昼食・休憩	研修時間
1 日の研修	9:00～ 9:20	9:30～12:00	12:00～13:00	13:00～16:00
午後の研修	13:00～13:20	13:30～16:30		

※例外あり

3 研修資料のダウンロードおよびレポート等の提出先

教育総合研究所ホームページ→「P l a n t」→「研修申込状況」→「【初任者研修】令和 7 年度初任者研修」→「ダウンロードファイル一覧」（研修資料のダウンロード）または「課題・アンケート一覧」（レポート等の提出）

※詳しくは「P l a n t」TOP 画面の「お知らせ通知受信一覧」にある「研修に際して」を参照。

※レポートは必ず管理職の確認を受けてから提出すること。

4 研修を受ける上での準備物

- ・「若手教員研修 初任者研修の手引き 2（初任者用）」、名札（学校名と氏名を記入し、集合型での研修中は必ず身に付ける。）、筆記用具、別途実施要項等で指示された課題等
- ・「研修資料（テキスト、名簿等）」（研修日の 2 日前から「P l a n t」よりダウンロードが可能となる。当日はデータまたは印刷物を持参すること。)

5 研修の参加に支障が生じたとき

学校行事等で指定された研修日に受講できない場合や、災害・事故等の緊急事態により、研修の参加に支障が生じた場合は、管理職を通じて研修担当機関に連絡する。

6 受講日等に注意が必要な研修

(1) No.112b I C Tを活用した授業づくり

校種・地域で日時、会場を分けて実施する。

【午前の部】受付 9:30～ 9:50 研修 10:00～12:30

【午後の部】受付 13:30～13:50 研修 14:00～16:30

会場	対象市町・校種	期日	
嶺南教育事務所	敦賀市、美浜町、若狭町、 小浜市、おおい町、高浜町	4 月 17 日 (木)	中学校・高等学校 午前
			小学校・特別支援学校 午後
教育総合研究所	福井市	4 月 18 日 (金)	中学校・高等学校 午前
			小学校・特別支援学校 午後
あいば一く今立	鯖江市、越前市、越前町、 池田町、南越前町	4 月 22 日 (火)	中学校・高等学校 午前
			小学校・特別支援学校 午後
教育総合研究所	大野市、勝山市、永平寺町、 坂井市、あわら市	4 月 24 日 (木)	中学校・高等学校 午前
			小学校・特別支援学校 午後

(2) No. 112a 教科別研修Ⅰ（特別支援学校を除く）

次の中から受講教科（主に担当しているもの）を選択し、指定期間に p. 13 の 51 の URL または二次元コードから回答する。

なお、嶺南の中学校で、国・社・数・理・英以外の教科を選択する場合は、5月29日（木）に教育総合研究所で実施する研修に参加する。

小…国語、社会、算数、理科、外国語

中…国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保体、技・家（技）、技・家（家）、英語

高…国語、地歴・公、数学、理科、保体、芸（音、美、書）、英語、家庭、情報、専門（農、工、商、水、福）

(3) No. 144、104、192（会場：三方青年の家）

対象	期日
小学校教諭（坂井市、あわら市、鯖江市、越前町、小浜市、高浜町、 おおい町、若狭町） 特別支援学校教諭	6月5日（木）
中学校教諭 高等学校教諭	6月12日（木）
小学校教諭（福井市、永平寺町、勝山市、大野市、越前市、南越前町、 池田町、敦賀市、美浜町） 養護教諭 栄養教諭	6月13日（金）

(4) No. 161 授業実践研究の共有、No. 162 教育実践研究の共有（クロスセッション）

受講希望日の第1希望～第3希望を、指定期間に p. 13 の 51 の URL または二次元コードから回答する。調整後の受講日は、教育総合研究所から別途文書で通知する。

(5) No. 112c 授業研究（公開授業参観および研究協議会参加）

研究協議会が開かれる公開授業に各自で申し込む。申込み後、教育総合研究所ホームページ→「P l a n t」→「研修申込状況」→「【初任者研修】令和7年度初任者研修」→「課題・アンケート一覧」から回答する。

※公開授業参観のみ、もしくは研究協議会参加のみの場合は受講とみなさない。なお、自校で実施する公開授業であっても、授業参観および研究協議会に他校の教員が参加する場合は、この授業研究の対象となる。

<例> 授業名人の公開授業、福井大学教育学部附属義務教育学校の公開授業、
中高連携事業、各学校・教科等の研究発表会 等

(6) 新任特別支援学級担任教員研修（以下、新特担任研修）での代替

特別支援学級担任になった初任者は、通信型研修の一部を新特担任研修（特別支援教育センター主催）で代替することができる。対象となる研修およびコード No. は、校種別の校外研修実施計画の備考欄を参照すること。（備考欄の TS1～TS5 は第1研修～第5研修を指す。）

研修後、「研修の記録・報告書」に振り返りを記入する。初任者研修の代替として扱わない場合（欠席等による未受講を含む。）、通信型研修、N I T S 動画教材を受講する。

新特担任研修については、「新任特別支援学級担任教員研修実施要項」を参照すること。（特別支援教育センターから別途各学校に配付）

5 校外研修の計画および記録・報告書、その他の提出書類について

1 校外研修の計画および記録・報告書

(1) 研修計画の確認

- ・年間の校外研修の実施日・会場等を把握するため、「校外研修の記録・報告書」の日時、会場欄に入力する。（計画の段階では外部機関への提出の必要はない。）
※作成期間：令和7年4月2日（水）～4月11日（金）
- ・様式は教育総合研究所ホームページ「教員研修」→「基本研修、職務研修」→「初任者研修」からダウンロードする。（作成したものは必ず管理職、指導教員と共有すること。）

(2) 受講日等希望調査

- ①No. 112a の受講教科、その他担当学年等について、研修時の班編成のため次のURLまたは二次元コードから回答する。

〔URL〕 <https://forms.office.com/r/7CDZ3bDYw6>

【回答期間】 令和7年4月11日（金）～4月25日（金）



- ②No. 161 の受講希望日程（第1希望～第3希望）について、次のURLまたは二次元コードから回答する。

〔URL〕 <https://forms.office.com/r/TAWkD4Tuu5>

【回答締切】 令和7年5月30日（金）



- ③No. 162 の受講希望日程（第1希望～第3希望）について、次のURLまたは二次元コードから回答する。

〔URL〕 <https://forms.office.com/r/wjX9dv4wi8>

【回答締切】 令和7年10月17日（金）



(3) 「校外研修の記録・報告書」の作成

- ・毎回の研修終了後に「概要・感想・成果の活用等」を入力する。
- ・通信型研修、NITS動画教材、NISE学びラボ（校外研修実施計画 p. 6～10）に記載の◎印が付されたものは、受講後に「概要・感想・成果の活用等」を入力する。
※新特担研修で代替する場合は、新特担研修の内容を入力する。
※受講の方法や期限は p. 15 **7** 「通信型研修・NITS動画教材・NISE学びラボについて」を参照すること。

(4) 「校外研修の記録・報告書」の提出

○中間報告

- ・第1回中間報告（5月末までの記録・報告）印刷したものを6月に三方青年の家で開催する研修時に持参する。
- ・第2回中間報告 印刷したものを11月20日（木）、27日（木）に教育総合研究所で開催する初任者研修時（コードNo. 145, 118, 126）に持参する。

○最終提出

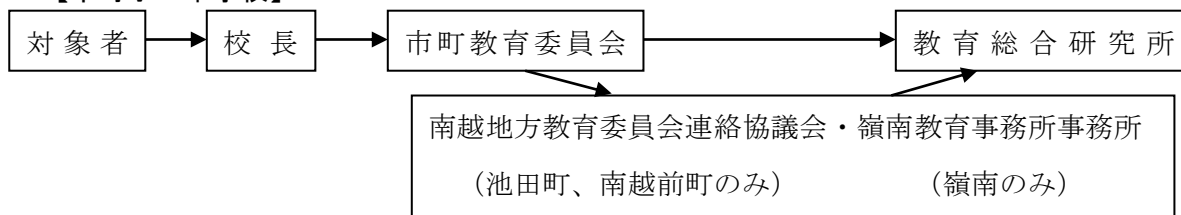
1年間の研修終了後、データを次の提出経路に従い管理職を通じてメールにて提出する。
※延期願（p. 14）を提出した研修については、該当研修の欄に「次年度に延期」と入力する。
※年度途中で研修を受講できなくなった場合は、その時点での記録・報告書を提出する。
〔形式〕ファイル名：【勤務校略称_氏名（フルネーム）】初任研_校外研修の記録・報告書
（例：【福井小_福井太郎】初任研_校外研修の記録・報告書）
ファイル形式：PDF

〔締切〕

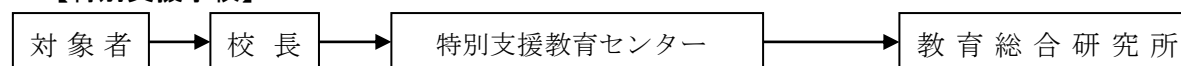
市町小・中学校「市町教育委員会へ」・・・・・・・・・・令和8年2月27日（金）
特別支援学校「特別支援教育センターへ」・・・・・・・・・・令和8年2月27日（金）
高等学校、県立中学校、その他「教育総合研究所へ」・令和8年3月6日（金）

○提出経路

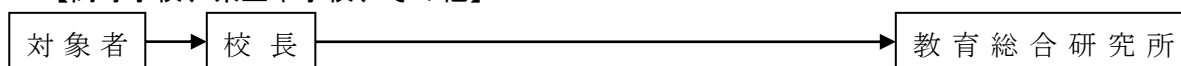
【市町小・中学校】



【特別支援学校】



【高等学校、県立中学校、その他】



教育総合研究所 教職研修センター	E-mail kyousyoku@pref.fukui.lg.jp
特別支援教育センター	E-mail tokuse03@pref.fukui.lg.jp

※メール送信の際は件名に「初任者研修」を表記してください。
 (例) 「初任者研修」校外研修の記録・報告書【福井小_春江太郎】

2 諸届

次のものは、事前に管理職を通じて担当機関に問い合わせた上で、必要に応じて校長が作成し、上記の提出経路のとおりデータをメールにて提出する。

欠席届（共通様式1）・・・年度内に代替研修の受講が可能な場合
 延期願（共通様式2）・・・受講が次年度以降になる場合

- ・様式：教育総合研究所ホームページ「教員研修」→「欠席届、延期願」からダウンロード
 - ・ファイル名：【勤務校略称_氏名（フルネーム）】欠席届または延期願
 - ・ファイル形式：PDF
- ※特別支援教育センターに提出する場合は、宛名に「特別支援教育センター所長」も併記する。

6 校外研修に関わるレポート

校外研修実施計画（p. 6～10）と次の一覧表を確認し、作成・提出する。

〔小学校、中学校、県立中学校、高等学校〕

コード No.	内容	提出方法 等	分量	ファイル 形式 等	様式
114a	学習指導における課題・工夫点	当日持参 7部 研修後一週間以内に P l a n tで提出	A 4 1 ページ程度	PDF形式 ファイル名 は様式参照	教育総合研究所 ホームページ ↓ 「教員研修」 ↓ 「基本研修、職務研修」 ↓ 「初任者研修」 よりダウンロード
113	授業実践研究のテーマ設定・実践研究プラン	6月18日（水）までに P l a n tで提出 当日持参 7部	A 4 1 ページ程度		
161	授業実践研究〔中間報告〕	10月3日（金）までに P l a n tで提出 当日持参 7部	A 4 2 ページ程度		
162	授業実践研究〔最終報告〕	当日持参 7部 研修後一週間以内に P l a n tで提出	A 4 3 ページ程度		

〔特別支援学校〕

コード No.	内容	提出方法 等	分量	ファイル 形式 等	様式
181	個別研究テーマ	当日持参 8部	A4 1ページ程度	—	後日別途通知
114	教材レポート	当日持参 8部	A4 2ページ程度	—	後日別途通知
184	個別研究の経過	当日持参 8部	A4 1ページ程度	—	後日別途通知
185	個の成長を考える	当日持参 8部	A4 1ページ程度	—	後日別途通知
186	個別研究の中間報告	当日持参 8部	A4 2ページ程度	—	後日別途通知
161	授業実践研究〔中間報告〕	当日持参 7部 研修後一週間以内に P l a n tで提出	加筆・修正	—	No.186のレポート に加筆・修正
N101 N201	視聴修了証明書を各自印刷	No.161受講日持参 1部	—	—	—
189	個別研究のまとめと 今後の課題	オンラインで画面共有 ※提出は課さない	A4 3ページ程度	—	No.161のレポート に実践内容を追記
162	授業実践研究〔最終報告〕	当日持参 7部	A4 4ページ程度	—	No.189のレポート に実践内容を追記
	授業実践研究〔完成〕	2月27日（金）までに P l a n tで提出	加筆・修正	P D F形式	上記レポート に加筆・修正

7 通信型研修・NITS動画教材・NISE学びラボについて

1 通信型研修の受講方法

＜コードNo. G211, 301, 101, H801＞

教育総合研究所ホームページ「P l a n t」→「研修申込状況」→「【初任者研修】〇〇〇」より受講する。受講後は「校外研修の記録・報告書」の「概要・感想・成果の活用等」に振り返りを入力する。

＜教科に関する通信型研修 コードNo. H001～622, G001～G021＞

教育総合研究所ホームページ「P l a n t」→「研修検索」より講座を選択し受講する。受講後は「校外研修の記録・報告書」の「概要・感想・成果の活用等」に振り返りを入力する。

（P l a n tでの振り返りは不要）

※受講方法の詳細は「P l a n t」TOP画面の「お知らせ通知受信一覧」にある「研修に際して」を参照。

2 NITS動画（コードNo. N001～006）教材の受講方法

教育総合研究所ホームページ→「P l a n t」→「研修申込状況」→「【初任者研修】令和7年度初任者研修」→「URL」より受講する。受講後は「校外研修の記録・報告書」の「概要・感想・成果の活用等」に振り返りを入力する。

3 N I S E 学びラボ～特別支援教育 e ラーニング～の受講方法および修了証明書（特別支援学校のみ）

- ・ 国立特別支援教育総合研究所ホームページからログインし受講する。（ユーザー登録の方法は特別支援教育センターから別途連絡する。）受講後は「校外研修の記録・報告書」の「概要・感想・成果の活用等」に振り返りを入力する。（P l a n t での振り返りは不要）
- ・ 講座視聴後は視聴修了証明書を各自で印刷し、No. 161 受講時に提出する。

〔小学校、中学校、県立中学校、高等学校〕

コード No.	講座名	受講期限
N001	N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No. 3 「まずは一社会人として ～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No. 4「スクール・コンプライアンス」	8月29日(金)
N002	N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No. 5「学校の組織、チーム学校」	
G211	学級づくりシリーズⅠ ～学級づくりのストーリーを知る～	
G301	情報セキュリティの基礎	
N003	N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No. 23「不登校」	
G101	授業のユニバーサルデザイン ～どの子も楽しく「わかる・できる」授業を目指して～	1月9日(金)
N004	N I T S 動画教材 校内研修シリーズ No. 109「キャリアパスポート」	
N005	N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No. 27 「学び続ける教師をめざして ～学びを深める校内研修～」	
H001～H622 G001～G021	教科に関する通信型研修	
H801	道徳教育の基礎（小中）	
N006	N I T S 動画教材 校内研修シリーズ No. 81 「高等学校における道徳教育の充実に向けて」（高）	校種により どちらかを選択

〔特別支援学校〕

コード No.	講座名	受講期限
N001	N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No. 3 「まずは一社会人として ～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」 N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No. 4「スクール・コンプライアンス」	8月29日(金)
N002	N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No. 5「学校の組織、チーム学校」	
G301	情報セキュリティの基礎	
N101	N I S E 学びラボ「多様な学びの場（特別支援学校の教育）」	10月30日(木)
N201	N I S E 学びラボ「障害種別の専門性」	
H001～H622、 G001～G021	教科に関する通信型研修	1月9日(金)
N003	N I T S 動画教材 基礎的研修シリーズ No. 23「不登校」	
G101	授業のユニバーサルデザイン ～どの子も楽しく「わかる・できる」授業を目指して～	
H801	道徳教育の基礎	

○福井県教育総合研究所

春江駅より徒歩約15分

春江駅

● 春江郵便局

● 春江小学校

スーパーマーケット

コンビニエンスストア

歯科

教育博物館前バス停(エンゼルランド線福井より)

教育博物館前バス停(至福井)

ファミリーレストラン

● 福井県教育総合研究所

● 教育博物館

● 福井県自治研修所

● 福井銀行

福井駅西口バスのりば②で
25系統エンゼルランド線に乗車 約31分
教育博物館前下車 徒歩約7分
28系統運転者教育センター線(平日のみ)に乗車 約40分
教育博物館前下車 徒歩約7分

〒919-0461 坂井市春江町江留上緑 8-1
TEL (0776) 58-2160

○電車を利用する場合
ハピラインふくい「春江駅」下車
徒歩 15 分

福井県特別支援教育センター
(県立病院関連四機関の4階です)

至金沢

至金沢

至鯖江

至鯖江

福井北IC

北陸自動車道

えちぜん鉄道
勝山永平寺線

松本通り

日ノ出小

板垣橋通り

四ツ井交番

さくら通り

ワイブラザ

勝山街道

福井口駅

木田橋通り

県立病院の表示あり

N

〒910-0846 福井市四ツ井 2-8-1
TEL (0776) 53-6574

○電車を利用する場合
えちぜん鉄道「福井口駅」下車
徒歩5分

至 敦賀

至 小浜市内

道の駅

小浜IC

小浜市農協会館東

24

JAわかさ

若狭イリポート南口

小浜美郷小

舞鶴若狭自動車道

東小浜

若狭合同庁舎

舞鶴南興局

若狭歴史博物館

若狭の里公園

公園

駐車場

事務所

東小浜駅前

27

小浜IC南

多田

東小浜駅前

遠敷

至 高浜

至 敦賀

至 高浜

至 舞鶴

〒917-0241 小浜市遠敷2丁目205
TEL(0770)56-1302

○電車を利用する場合
JR 小浜線「東小浜駅」下車
徒歩 10 分



○ 幅広い教養を身につけ、常に社会生活に類え、常に学

1000 JOURNAL OF MANAGEMENT INQUIRY

[illegible]